marantz®

Model SA-13S2 / SA-15S2 取扱説明書

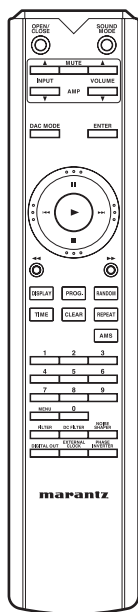
Super Audio CD player

マランツのスーパーオーディオ CD プレーヤーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

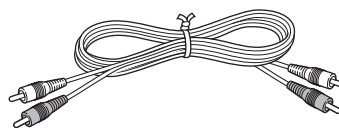
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

■ 付属品の確認

製品を箱から出したらまず下記の付属品がそろっているか確認してください。

• リモコン..1個

• 単4乾電池..2個

• 電源コード..1本

• オーディオケーブル（赤·白）...............................1組

• リモート接続ケーブル（オレンジ）......................1本

• 取扱説明書（本書）...1冊

• 保証書（箱に貼付）...1枚

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

警　告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 本機の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落し込んだり、水を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにしてください。電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 本機に付属している電源コードのみ使用してください。他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流容量などの違いにより火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は50Hz 地域または60Hz地域でご使用できます。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- 本機の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  - 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
  - 本機の上に物を置く。
- 本機の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。
  火災の原因になります。
- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また､接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁をし、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車内、熱器具の近くなど高温の場所に置かないでください。

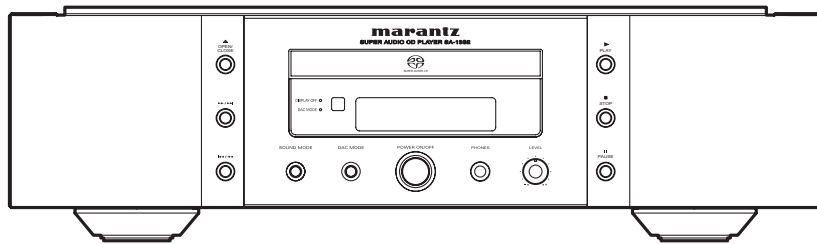
- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所や湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
  - 窓を閉めきった自動車の中
  - 直射日光が当たる場所
  - 火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。
  機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

OPTRC_090130F1

本機の特長

本機はスーパーオーディオ CD の持つサウンドパフォーマンスを高度に再生します。主に次のような特長があります。

- **ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズ低歪フィルター回路と高速 HDAMSA2 送り出しアンプ**

- **CD-R/CD-RW ディスク再生対応**

- **本機指定ファイル形式の WMA または MP3 が記録された CD-R/RW/ROM ディスク再生対応**

- **トロイダルトランス**

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは漏洩磁束を軽減しています。

- **厳選されたオーディオ用部品を搭載**

電源ブロックコンデンサには SA-7S1 で使用したものと同様のカスタム品を搭載しています。その他、電源部整流ダイオードやレギュレータなどに高級機にふさわしい部品を使用しております。

- **ヘッドフォン回路パーツのグレードアップ**

フルディスクリート構成のヘッドフォン出力回路を搭載し、高い評価をいただいた SA-15S1 の回路、パーツをブラッシュアップし、さらに質感と表現力を向上させました。

- **DAC モード**

本機の DIGITAL AUDIO IN 端子と CD トランスポートや MD レコーダー等、デジタル出力を備えた機器を接続することによって、本機を D/A コンバーターとして使用することができます。
本機内蔵の高性能、高音質の回路を通して音楽を再生することによって、音楽の表現力を一段と向上することができます。

- **ダブル・レイヤード･シャーシ**

- **高級削り出しアナログ・オーディオ出力端子**

- **高剛性シャーシ（SA-13S2）**

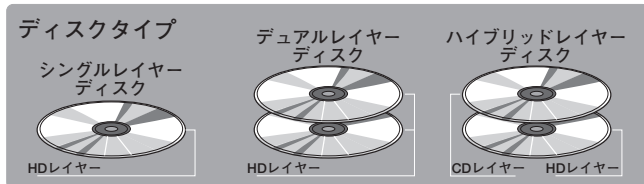
トップカバーは 5mm 厚のアルミ無垢材を採用しました。
またメインシャーシ、リアパネル、内部シャーシは銅メッキ鋼板を使用しています。

本機で再生できるディスクについて

1. スーパーオーディオ CD

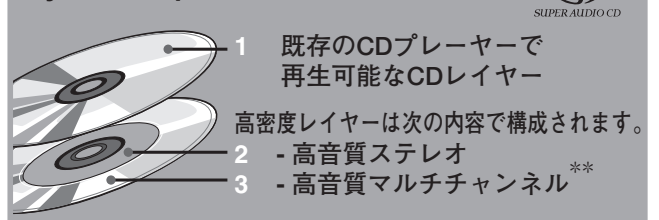
スーパーオーディオ CD 規格はダイレクト・ストリーム・デジタル(Direct Stream Digital)(DSD)技術に基づいています。このダイレクト・ストリーム・デジタル・フォーマットは、従来のオーディオ CD よりも 64 倍のサンプリング周波数を有する 1 ビットシステムから構成されています。
それによって、100kHz 以上におよぶ周波数範囲及び可聴周波数帯全域でダイナミックレンジ 120dB の素晴らしいサウンドが生まれます。
可能な限り多くの周波数分布をミックスすることにより、可聴域のオーディオ情報がよりいっそう自然に聞こえるようになります。
つまり、すべての可聴周波数は音源から発せられる周波数範囲内に組み込まれます。
これによって、リアリティーのある音場が再現されます。

スーパーオーディオ CD には、以下の３つのタイプがあります。

- **シングルレイヤー・ディスク**
- **デュアルレイヤー・ディスク**
- **ハイブリッドレイヤー・ディスク**

また、各々のタイプは、情報が記録される 2 つの領域、

- **高音質ステレオエリア**
- **高音質マルチチャンネルエリア****

を持つことができます。

- **シングルレイヤー・ディスク**
  高音質ステレオと高音質マルチチャンネル ** の両方の情報エリアを持つことができます。
- **デュアルレイヤー・ディスク**
  高音質ステレオと高音質マルチチャンネル ** の両方の情報エリアを持つことができますが、第二レイヤーの存在によって 2 倍の情報量をディスクに記憶することができます。
- **ハイブリッドレイヤー・ディスク**
  高音質ステレオと高音質マルチチャンネル ** の両方の情報エリアを持てるだけでなく、第二レイヤーには CD レイヤーも持てるため、CD プレーヤーでの再生が可能となります。

記録されるトラック数は、レイヤーによって違うことがあります。

** **本機はステレオ専用プレーヤーですので高音質マルチチャンネルエリアは再生できません。(マルチチャンネルエリアは認識しません)**

2. オーディオ(音楽)CD(CDDA)

オーディオ CD はミュージックトラックのみで構成されています。

3. CD-R／CD-RW

- CD-R や CD-RW の再生では必ず TOC* が正しく記録されていることが必要です。CD レコーダーでは TOC 情報を書き込むことをファイナライズ(Finalize)といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通の CD プレーヤーやスーパーオーディオ CD プレーヤーではオーディオ CD として正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくは CD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

* TOC(トック)とは Table Of Contents の略で、ディスクの総曲数や総再生時間などの目次情報のことです。

- CD-RW ディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオ CD や CD-R に比べ TOC の読み込みに若干時間がかかることがあります。

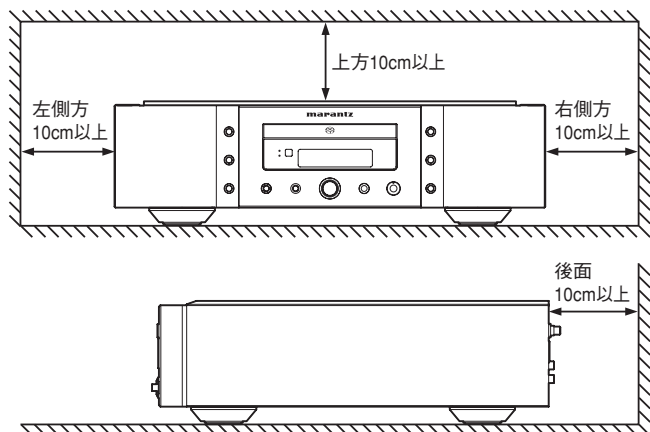
ご使用の前に

■ 設置場所

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。
- アンプ等の発熱の多いものの上

※ アンプ等の発熱の多いものの上に直接置いた場合、レーザー等の劣化の原因になります。

■ 上に物をのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域、または 60Hz 地域どちらでも使用できます。

■ 電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。

  コードを強くひっぱったり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- お出かけ前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

■ セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及びセット内部の修理は行わないでください。

■ 使用上の注意

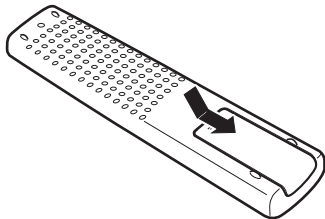
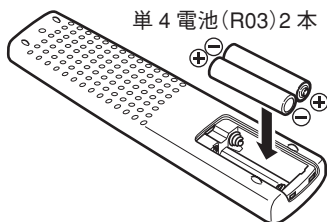
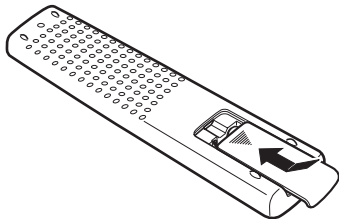
- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。スーパーオーディオ CD プレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - 暖房開始直後の部屋
  - 湿気が多い部屋
  - 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので 30 分位待ってから使用してください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- パソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD（ビデオ／オーディオ）、DTS-CD、などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。
- ヘッドホンを本機に接続して演奏を聴くときに、本機と接続しているアンプ、レシーバまたはステレオシステムの電源スイッチが切られていると、本機と接続している機種（例えば入力ショート型のような機種）によっては演奏中の音声がかわる事がありますが、本機の故障ではありません。

リモコンの使用について

■ リモコンに乾電池を入れる

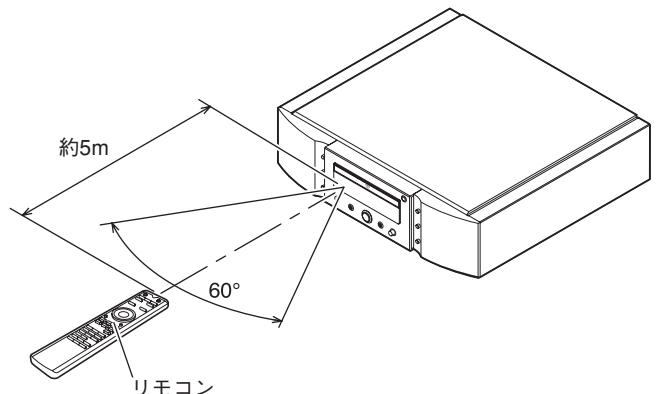
付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

1. 裏ぶたをはずします。

2. 電池の⊕⊖を正しく入れます。

3. カチッと音がするまでしめます。

■ 乾電池の取り扱い方について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

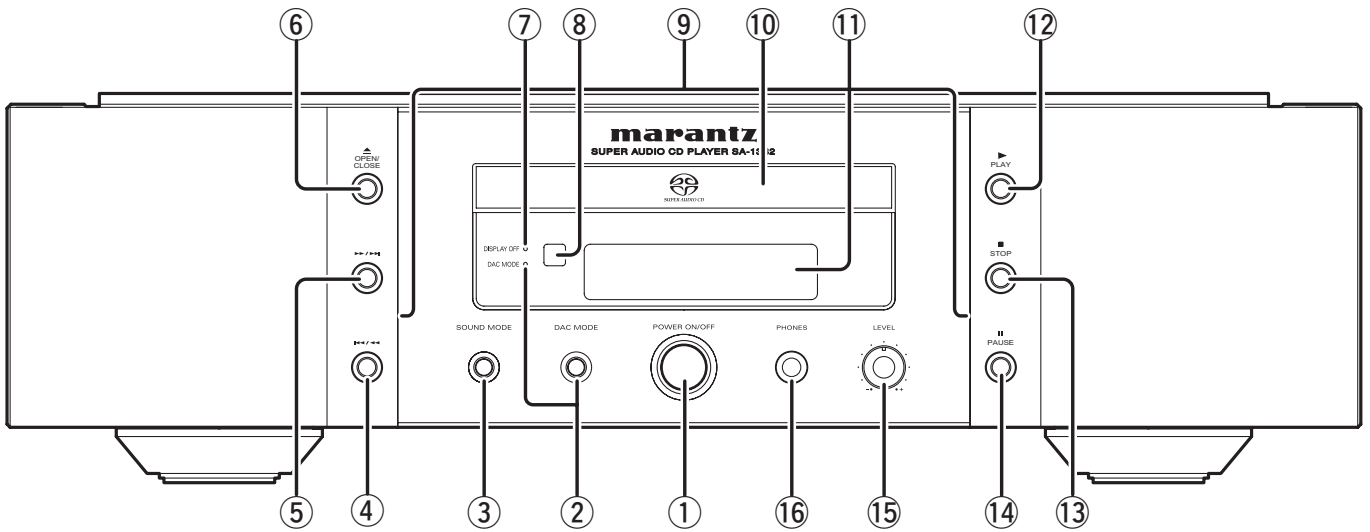
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ 向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

■ リモコンの使用できる範囲

リモコンと本機の操作可能範囲は下図のとおりです。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させせることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

前面

① POWER ON/OFF スイッチ

本機の電源を ON/OFF するスイッチです。
スイッチを押すと表示窓が点灯し、電源が入ります。もう一度押すと、表示窓が消灯し、電源が切れます。
15 ページ参照

② DAC MODE（DAC モード）ボタン DAC MODE（DAC モード）インジケーター

本機を D/A コンバーターとして使用するときに押すボタンです。
ボタンを押して本機が DAC モードになると、DAC MODE インジケーターが点灯します。
24 ページ参照

③ SOUND MODE ボタン

スーパーオーディオ CD ディスクのサウンドモードを選択するボタンです。

④ ⏮/◀◀（トラック スキップ／サーチ）ボタン

16 ページ参照

⑤ ▶▶/⏭（サーチ／トラック スキップ）ボタン

16 ページ参照

⑥ ⏏（オープンクローズ）ボタン

15 ページ参照

⑦ DISPLAY OFF（ディスプレイオフ）インジケーター

25 ページ参照

⑧ 赤外線受光部

リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

⑨ イルミネーションランプ

表示窓が点灯しているとき点灯します。
常に消灯する様に設定することもできます。25 ページ参照

⑩ ディスクトレイ

ディスクをのせるトレイです。15 ページ参照

⑪ LCD ディスプレイ

13 ページ参照

⑫ ▶（プレイ）ボタン

15 ページ参照

⑬ ■（ストップ）ボタン

15 ページ参照

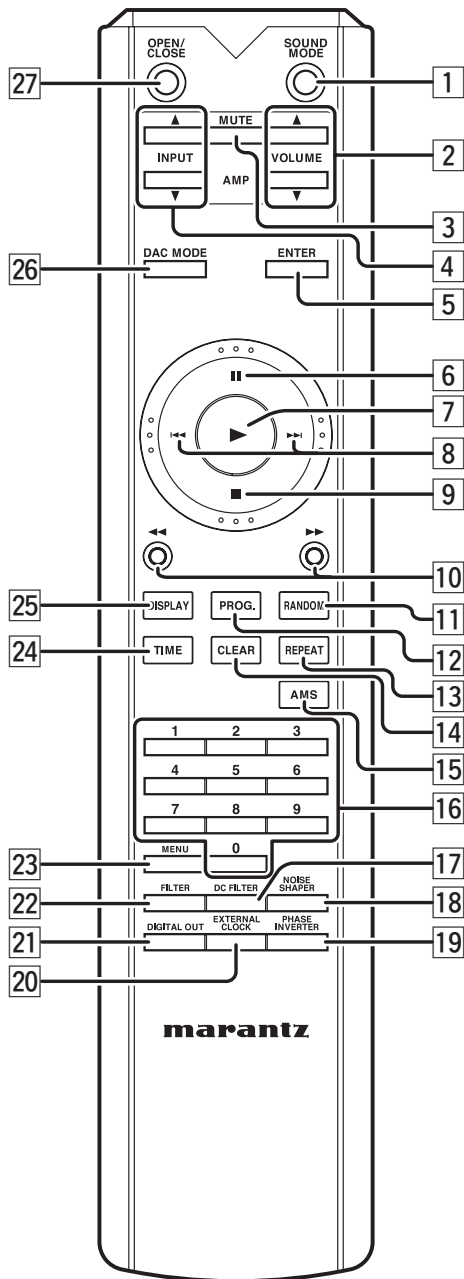
⑭ ⏸（ポーズ）ボタン

15 ページ参照

⑮ LEVEL（ヘッドホンレベル）つまみ

ヘッドホンの音量を調整するつまみです。右に回すとヘッドホンの音量が大きくなります。

⑯ PHONES（ヘッドホン）端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは標準プラグのものをご使用ください。

リモコン

1 SOUND MODE（サウンドモード）ボタン

23 ページ参照

2 VOLUME（ボリューム）▲／▼ ボタン

マランツ製のリモコン付きアンプをご使用の場合、音量調節をすることができます。

3 MUTE（ミュート）ボタン

マランツ製のリモコン付きアンプをご使用の場合、ミューティング機能の操作ができます。

4 INPUT（インプット）▲／▼ ボタン

マランツ製のリモコン付きアンプをご使用の場合、インプット切り替えを操作することができます。ただし、旧モデルでは対応していない場合があります。

5 ENTER ボタン

MENU による設定を確定するときに使用します。

6 ❚❚（ポーズ）ボタン

15 ページ参照

7 ▶（プレイ）ボタン

15 ページ参照

8 |◀◀、▶▶|（トラックスキップ）ボタン

16 ページ参照

9 ■（ストップ）ボタン

15 ページ参照

10 ◀◀、▶▶（サーチ）ボタン

16 ページ参照

11 RANDOM（ランダム）ボタン

21 ページ参照

12 PROG.（プログラム）ボタン

21 ページ参照

13 REPEAT（リピート）ボタン

20 ページ参照

14 CLEAR（クリア）ボタン

22 ページ参照

15 AMS（オートマチック ミュージック スキャン）ボタン

22 ページ参照

16 0-9（数字）ボタン

16 ページ参照

17 DC FILTER ボタン

本機では使用しません。

18 NOISE SHAPER ボタン

本機では使用しません。

19 PHASE INVERTER ボタン

本機では使用しません。

20 EXTERNAL CLOCK ボタン

本機では使用しません。

㉑ DIGITAL OUT（デジタルアウト）ボタン

オーディオ CD 信号のデジタル出力の ON ／ OFF 設定をするときに押します。24 ページ参照

㉒ FILTER（フィルター）ボタン

デジタルフィルターの設定をするときに押します。
ボタンを押すたびに下記のように切り替わります。

FIL1 → FIL2 → FIL1

25 ページ参照

㉓ MENU（メニュー設定）ボタン

Timer Play の設定、スタートサウンドモードを設定するときに押します。

㉔ TIME（タイム）ボタン

時間表示を切替えるときに押します。
20 ページ参照

㉕ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

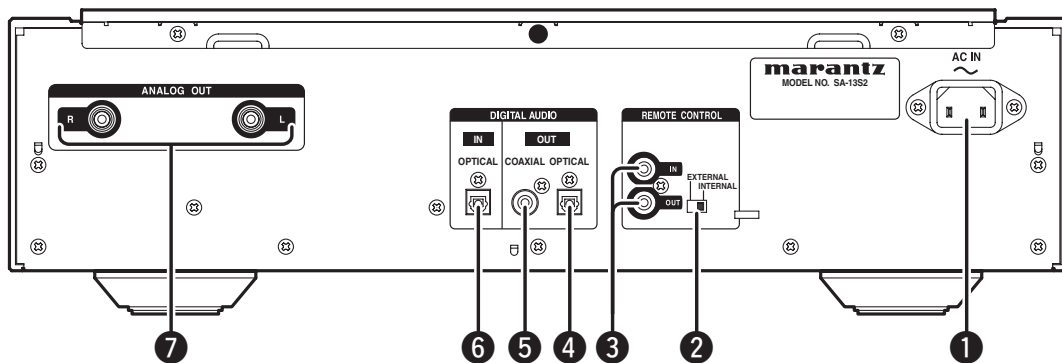
表示窓の点灯、消灯を切替えます。
電源を切っても最後に設定した状態が保持されます。

㉖ DAC MODE（DAC モード）ボタン

本機を D/A コンバーターとして使用するときに押すボタンです。24 ページ参照

㉗ OPEN/CLOSE（オープンクローズ）ボタン

15 ページ参照

後面

❶ 電源コード接続端子

付属の電源コードを使用して、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

万一の事故防止のため、本機から電源コードが外せる配置にしてください。

❷ EXTERNAL ／ INTERNAL（エクスターナル／インターナル）スイッチ

スイッチはお買い上げ時 INTERNAL に設定されていて、本機に内蔵されているリモコン信号受光部を使用できます。
当社製品と付属の接続ケーブルでリモートコントロール端子に接続する場合は、スイッチを EXTERNAL に切り替えて使用します。18 ページ参照

❸ REMOTE CONTROL IN ／ OUT（リモートコントロール入出力）端子

当社製品でリモートコントロール端子を装備した機種と、付属のリモート接続ケーブルで接続する端子です。18 ページ参照

❹ DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（光デジタル出力）端子

再生中のオーディオ CD 信号をデジタル出力する光出力端子です。17 ページ参照

❺ DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL（同軸デジタル出力）端子

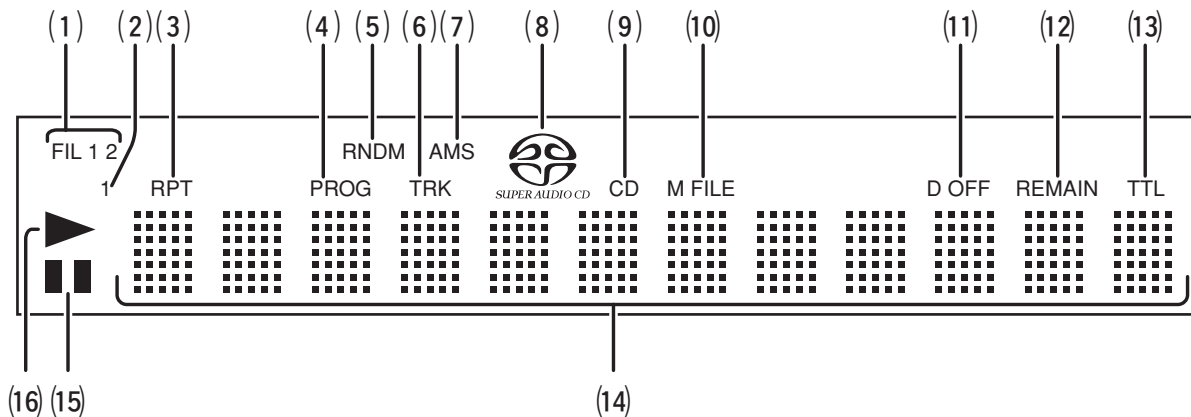
再生中のオーディオ CD 信号をデジタル出力する同軸出力端子です。17 ページ参照

❻ DIGITAL AUDIO IN OPTICAL（光デジタル入力）端子

本機を D/A コンバーターとして使用するとき、デジタル入力を接続する光入力端子です。18 ページ参照

❼ ANALOG OUT（アナログ出力）端子

再生中の音楽信号を出力する端子です。14 ページ参照

表示窓

(1) FIL 1 2（フィルター1、フィルター2）インジケーター

現在、フィルター1、フィルター2 のうち、どのフィルターが選択されているかを表示します。

(2) 1（リピート）インジケーター

1 曲リピート再生時に点灯します。

(3) RPT（リピート）インジケーター

リピート再生時に点灯します。

(4) PROG（プログラム）インジケーター

プログラム再生時に点灯します。

(5) RNDM（ランダム）インジケーター

ランダム再生時に点灯します。

(6) TRK（トラック）インジケーター

再生中の曲番（トラックナンバー）などの表示の上に点灯します。

(7) AMS（オートマチックミュージックスキャン）インジケーター

AMS 再生時に点灯します。

(8) SUPER AUDIO CD インジケーター

ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。
（スーパーオーディオ CD）

(9) CD インジケーター

ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。
（オーディオ CD）

(10) M FILE インジケーター

ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。
（WMA/MP3）

(11) D OFF（デジタル出力 OFF）インジケーター

オーディオ CD 信号のデジタル出力設定が OFF に設定されているときに点灯します。24 ページ参照

(12) REMAIN（リメイン）インジケーター

トラックの残り再生時間を表示すると、その上に点灯します。

(13) TTL（トータルタイム）インジケーター

総残り時間や、総プログラム時間を表示すると、その上に点灯します。

(14) メイン表示部

再生するディスクの時間表示、文字情報、設定メニューなどを表示します。

(15) II（ポーズ：一時停止）インジケーター

一時停止時に点灯します。

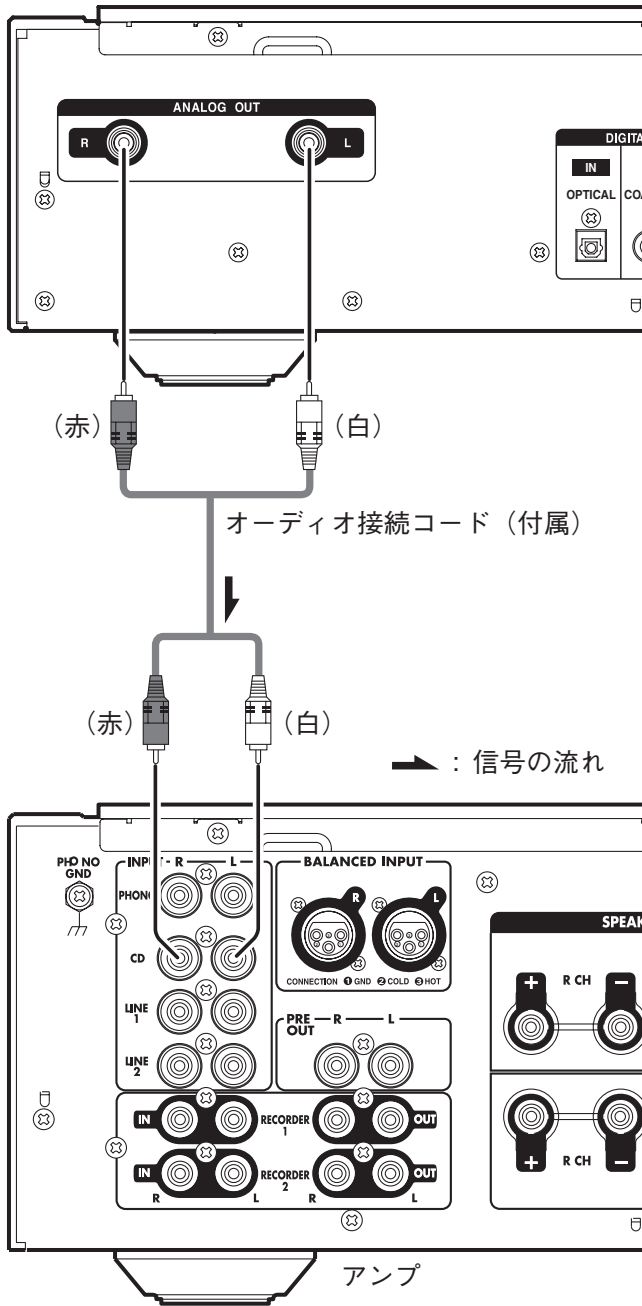
(16) ►（プレイ：再生）インジケーター

再生時に点灯します。

基本接続

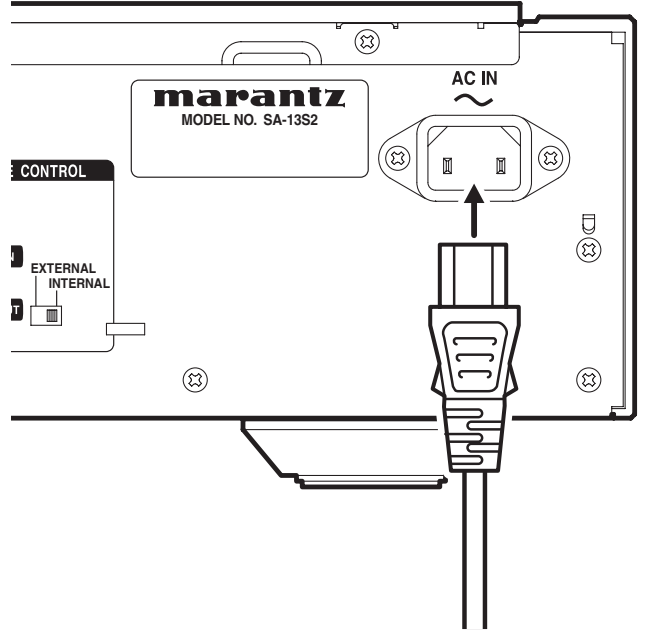
アンプ、CD レコーダーなどと本機を接続します。正しく接続を行なうため、接続する機器の取扱説明書をお読みください。また、接続するときは各機器の電源を必ず切ってください。

アンプとの接続

本機をステレオアンプや AV アンプにオーディオ接続コードを使用して接続します。
接続するときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因となります。

ご注意

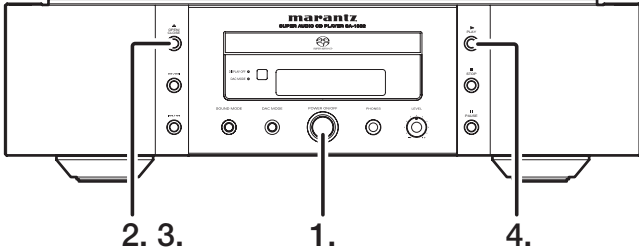
アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

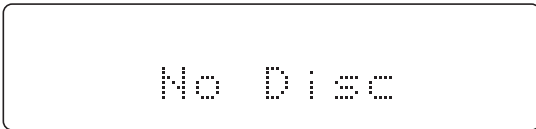
電源コードとの接続

1. 付属の電源コードをプレーヤーの背面の電源コード接続端子に差し込んでください。

2. 電源コードをコンセントに差し込んでください。
3. 接続したオーディオ機器（アンプ等）の電源スイッチを入れてください。その際オーディオ機器のセレクトボタンは本機と接続した入力を選択してください。

基本操作

通常の再生のしかた

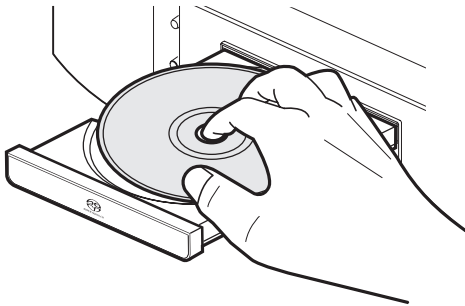
■ プレーヤーの再生

1. POWERスイッチを押し、電源を入れます。

ディスプレイ

表示は"**Power On**"→"**TOC Reading**"→"**No Disc**"（ディスクが入っていない場合）へ変わります。

ご注意

本機はディスクの TOC 読み取り後、そのディスクに記録されている総曲数や総再生時間を表示しません。
また、スーパーオーディオ CD や CD のテキストを表示しません。

2. ▲ボタンを押します。

ディスクトレイがでてきますので、そこにレーベル面を上にして、ディスクをのせます。

シングル（8cm）CDは、トレイ中央のくぼみに合わせてのせてください。

3. ▲ボタンを押します。

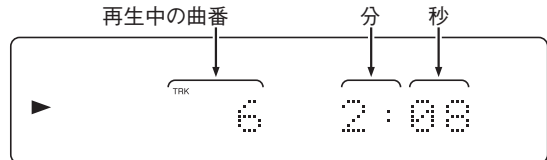
ご注意

ディスクトレイは手で押し込まないでください。不良の原因となります。

4. ▶ボタンを押します。

ディスクの種類を自動的に判別し、再生を始めます。
ディスプレイには曲番・曲の再生経過時間（分、秒）が表示されます。

- スーパーオーディオ CD/CD のハイブリッドディスク（7 ページ）の場合、スタートサウンドモード（→ 23 ページ）で設定されたレイヤーが再生されます。レイヤーを変更したいときは **SOUND MODE** ボタンで切替えてください。（→ 23 ページ）

（例：6曲目、経過時間2分8秒の場合）

最後の曲の再生が終わると、自動的に止まります。

● 再生を停止するには

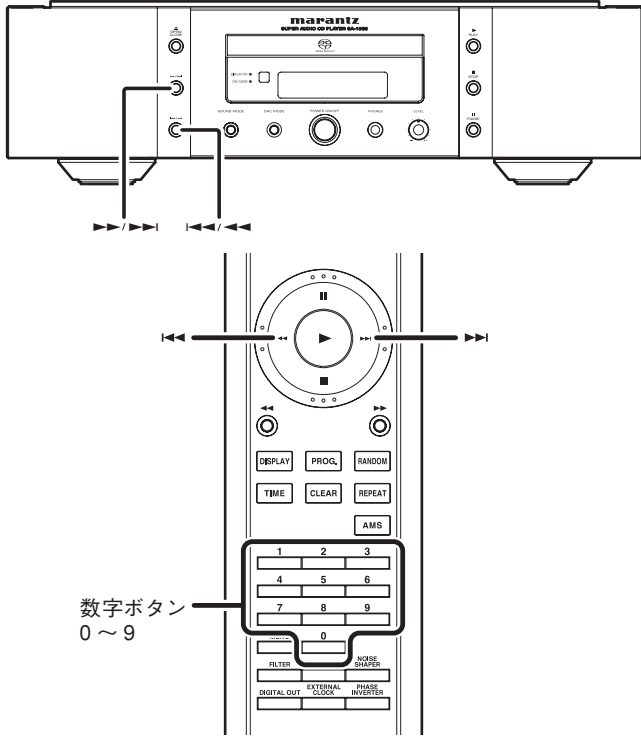
■ ボタンを押します。

● ディスクを取り出すには

▲ ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを取り出し、もう一度押して閉じます。
本機を使わないとき、ディスクトレイは必ず閉めておいてください。

● 再生を一時停止するには

II ボタンを押します。
"II"（ポーズ）インジケーターが点灯し、再生はボタンを押した所で一時停止されます。再生を再開するには、もう一度 II ボタンを押すか ▶ ボタンを押します。

聴きたい曲（トラック）を再生する

■ 曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

リモコンの数字ボタン（0 ～ 9）で再生する曲番を指定します。
（例）

3 曲目 ： 数字ボタン **3** を押す。
12 曲目 ： 数字ボタン **1** を押し、続けて **2** を押します。
（約 1.5 秒以内に押してください。）

● 数字ボタンを押し間違えたときは

ディスクにない曲番を指定すると、この操作をする前の表示に戻ります。
もう一度、正しい数字ボタンを押します。

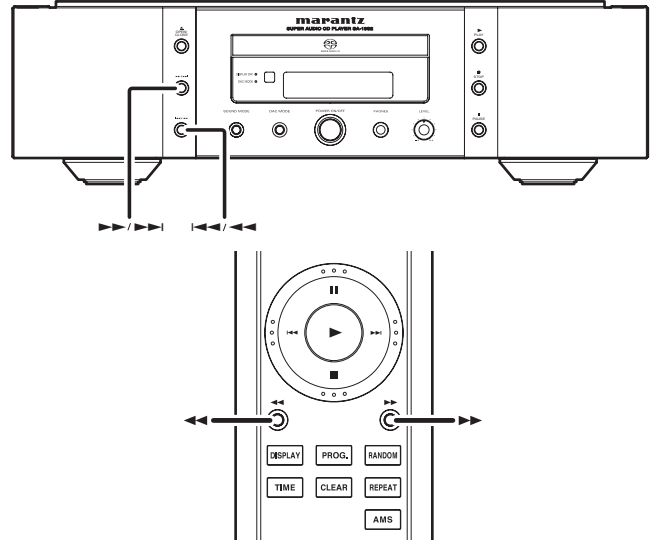
■ 前の曲や次の曲を再生する（トラック スキップ）

● 再生中の曲より後の曲を聴くには

進めたい曲数分だけ本体またはリモコンの ▶▶I ボタンを押します。

● 再生中の曲より前の曲を聴くには

再生中に本体またはリモコンの I◀◀ ボタンを 1 度押すとその曲の頭に移ります。
続けて戻したい曲数分だけ本体またはリモコンの I◀◀ ボタンを押します。

聴きたい部分を再生する（サーチ）

再生中に本体の I◀◀、▶▶I ボタンを 1 秒程度押し続けるかリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すと、サーチを開始します。
その後本体の I◀◀、▶▶I ボタン、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すとサーチスピードを変更することができます。
サーチの速度は 4 段階で 1 → 2 → 3 → 4 → 1 と変化します。
速度は 4 が最も速くサーチします。
聴きたい部分が近づいてきたら ▶ ボタンを押してください。

ご注意

サーチ操作中に音声は出力されません。

応用接続

デジタルオーディオ出力端子との接続

本機はデジタル出力端子を OPTICAL（光）・COAXIAL（同軸）各 1 系統装備しています。
本機と CD レコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、デジタル録音がお楽しみいただけます。

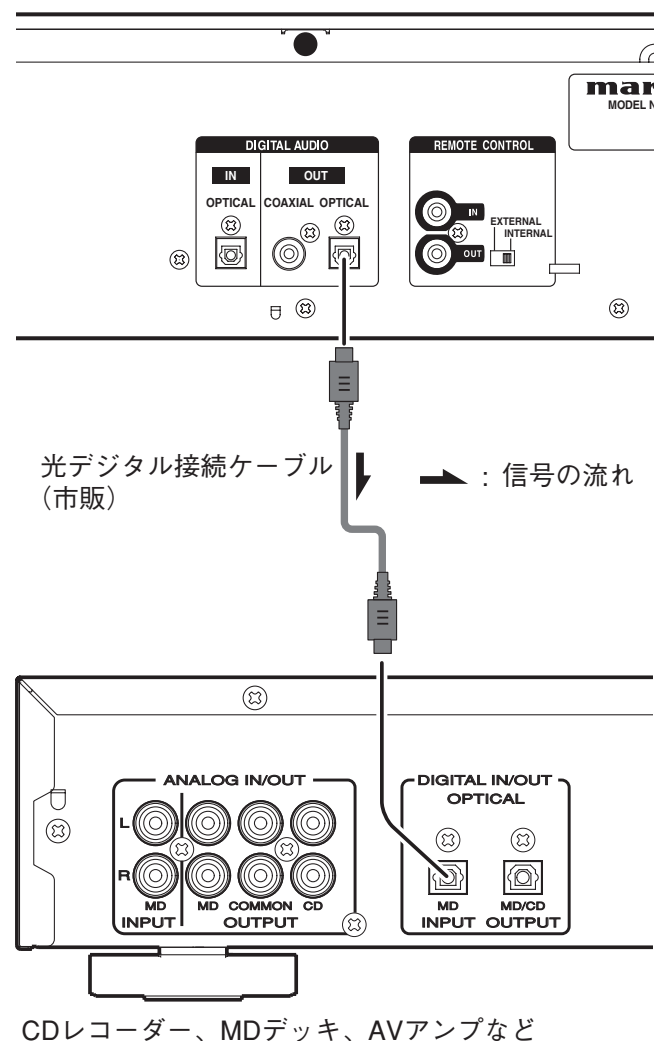
- 接続後、CD 停止時にリモコンの DIGITAL OUT ボタンを押して、DIGITAL AUDIO OUT 端子からのオーディオ CD 信号のデジタル出力を ON に設定してください。
  リモコンのボタンを押す度にデジタル出力 ON/OFF が繰り返され、デジタル出力 OFF 時には LCD ディスプレイに“D OFF”が点灯します。
  デジタル出力しないときはデジタル出力を OFF に設定すると、より良い音質で楽しむことができます。

ご注意

DIGITAL AUDIO OUT 端子（OPT.、COAX.）からはオーディオ CD またはスーパーオーディオ CD の CD レイヤー再生時のときのみ出力されます。その他メディア再生時のときは出力されません。

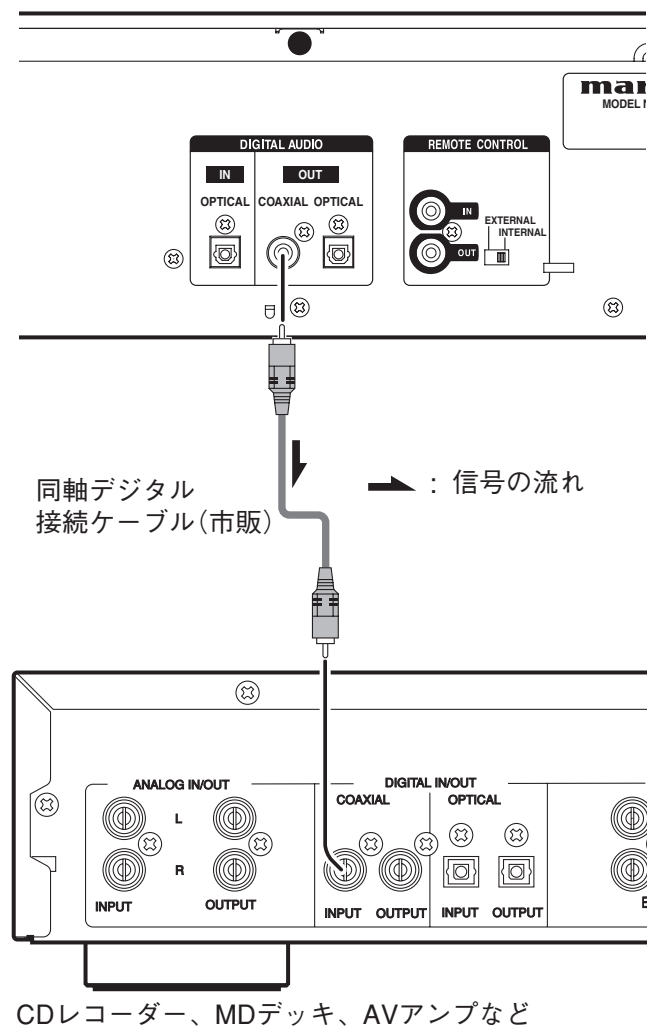
■ OPTICAL（光）出力端子を接続する

市販の光デジタル接続ケーブルを使用します。プラグがカチッと音がするまで確実に差し込んでください。光デジタル接続ケーブルは折り曲げたり、束ねたりしないでください。

CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

■ COAXIAL（同軸）出力端子を接続する

市販の同軸デジタル接続ケーブルを使用します。

CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

各部の名称
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
困ったときは
その他

応用接続

デジタルオーディオ入力端子との接続

本機と CD トランスポートや MD レコーダー等、デジタル出力を備えた機器を接続すると、本機を D/A コンバーターとして使用することができます。

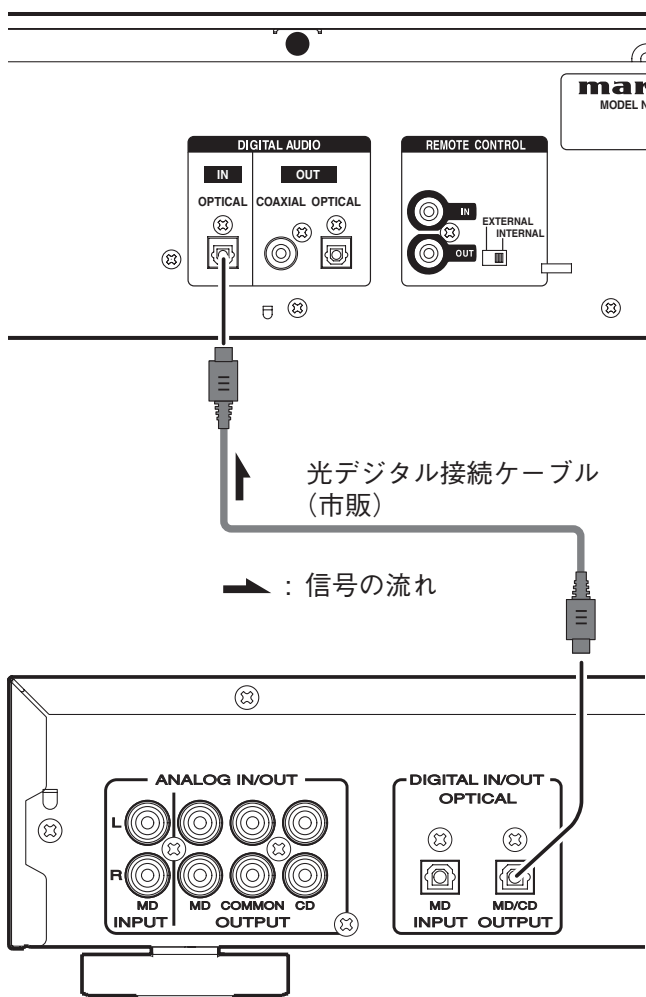
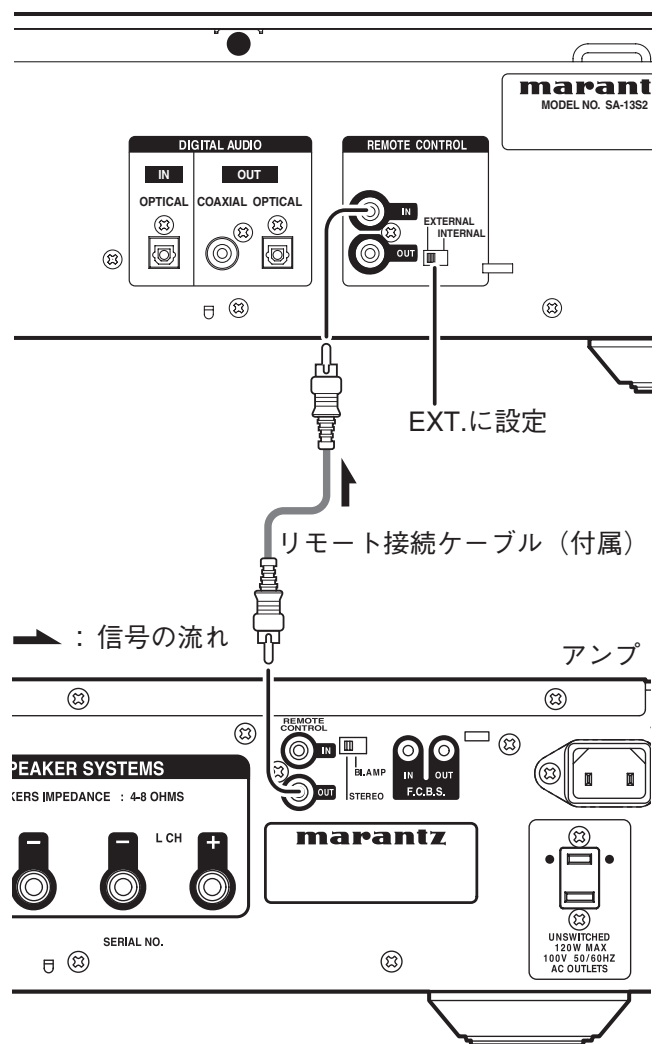
ご注意

本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz のリニア PCM 信号です。
CD-ROM、ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

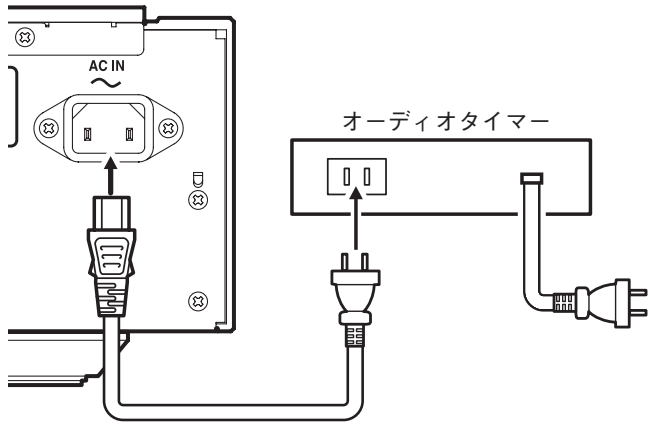
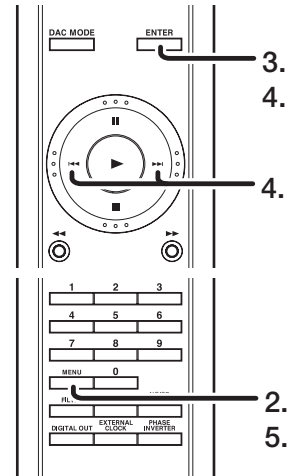
CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

リモートコントロール端子

付属のリモートコントロールケーブルを使って、本機を他のマランツ製オーディオ機器に接続すると、システムとして接続した機器をリモートコントロールできます。

- リモートセンサーを搭載している機器と接続するとき、本機の“REMOTE CONTROL IN”と接続する機器の“REMOTE CONTROL OUT”端子を接続してください。
  このとき、本機のスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。本機のリモコン赤外線受光部が動作しなくなり、接続した機器のリモコン赤外線受光部を通して操作することができます。

タイマープレイ

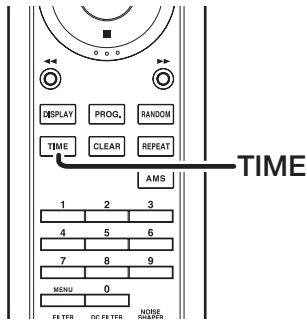
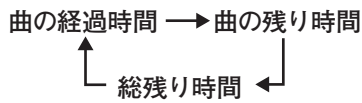
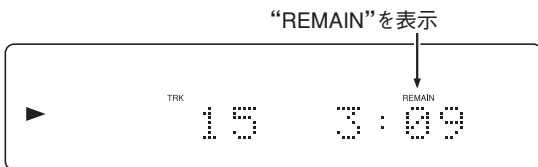
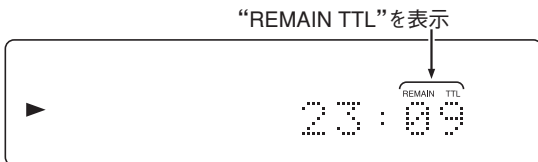
本機では市販の外部オーディオタイマーと連動したタイマープレイができます。
図のように本機の電源コードをオーディオタイマーの電源ソケットに差し込んでください。

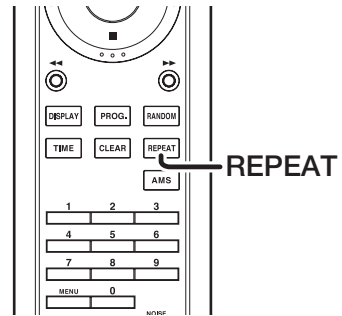
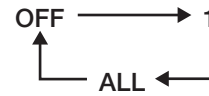
※ オーディオタイマーへの接続、および操作についてはオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。

■ タイマープレイの設定

1. POWERスイッチを押し、電源を入れます。
2. リモコンのMENUボタンを押します。
3. 表示部に"TIMER PLAY=>"を表示させ、リモコンのENTERボタンを押します。
4. ⏮、⏭ボタンで"2 ON"を表示させ、リモコンのENTERボタンを押します。
5. リモコンのMENUボタンを押し、設定を終了します。
6. 再生するディスクを本機に挿入します。
7. オーディオタイマーを設定します。

ご注意

本機がリピートモード、ランダムモードのときはメニュー設定に入ることができません。

応用操作

時間表示を切替える

リモコンの **TIME** ボタンを押します。
TIME ボタンを押すごとに時間表示は下記の順に変わります。

- **曲の残り時間**
  （再生している所から、その曲の最後までの再生残量時間）

- **総残り時間**
  （再生している所から、最後の曲までの総再生残量時間）

総残り時間の時は Track 表示はされません。

繰り返し聴く（リピート再生）

リモコンの **REPEAT** ボタンを押すごとに下記の順に切り替わります。

■ 1 曲だけを繰り返し聴く（1 曲リピート）

リピート OFF 時リモコンの **REPEAT** ボタンを 1 回押します。"**1**""**RPT**" インジケーターが点灯し、その曲を繰り返し再生します。

● 通常の再生に戻るには

リモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押します。"**1**""**RPT**" インジケーターが消えて、リピートモードは解除され、通常の再生に戻ります。
また、■ ボタンを押して再生を停止するとリピートモードは解除されます。

■ 全曲を繰り返し聴く（全曲リピート）

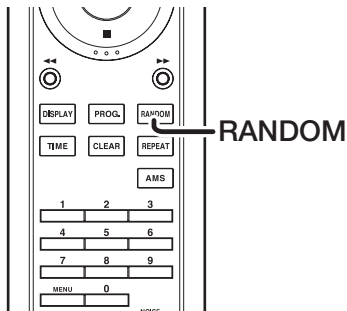
リピート OFF 時リモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押すと "**RPT**" インジケーターが点灯し、全曲を繰り返し再生します。

● 通常の再生に戻るには

リモコンの **REPEAT** ボタンを 1 回押します。"**RPT**" インジケーターが消えてリピートモードは解除され、通常の再生に戻ります。
また、■ ボタンを押して再生を停止するとリピートモードは解除されます。

ご注意

リピート再生の設定中はランダム再生、AMS 再生を行なうことはできません。

順不同で曲を再生する（ランダム再生）

停止中にリモコンの RANDOM ボタンを押し、続いて ▶ ボタンを押すと、自動的に曲順を並び変えて、全曲を順不同（ランダム）に再生します。
このとき、表示部の“RNDM”（ランダム）インジケーターが点灯します。

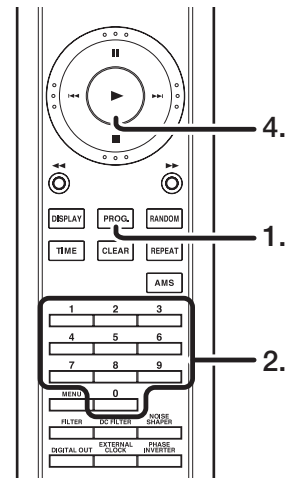
ご注意

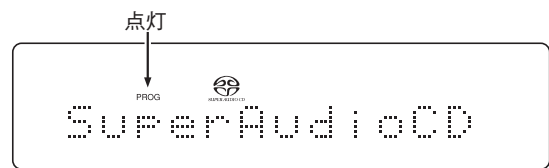
ランダム再生の設定中はリピート再生、AMS 再生を行なうことはできません。

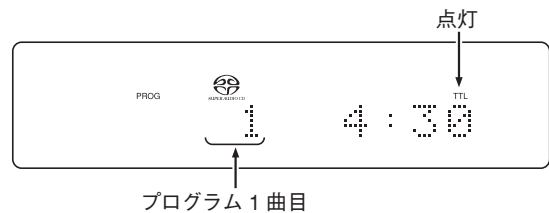
- ランダム再生中に本体またはリモコンの ▶▶I ボタンを押すと、押すたびに本機が並べ変えた曲に移り、再生を始めます。
- ランダム再生中に本体の I◀◀/◀◀、 ▶▶/▶▶I ボタンを押し続けるかリモコンの ◀◀、 ▶▶ ボタンを押すと、再生中の曲内をサーチします。

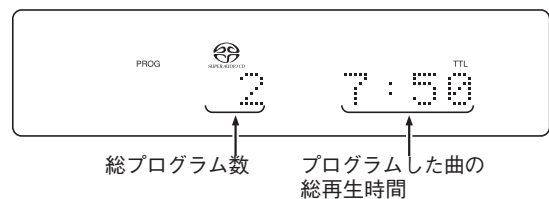
● ランダム再生を止めて、通常再生に戻すには

■ ボタンを押し、再生を停止した状態で RANDOM ボタンを押します。
“RNDM”（ランダム）インジケーターが消えて、ランダム再生が解除されます。

曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）

曲を好きな順番に並べ替えて聴くことができます。
最大 24 曲まで再生する曲をプログラムできます。

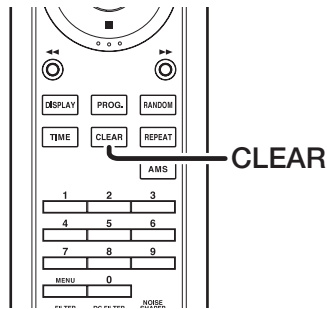
1. 停止状態でリモコンのPROG.ボタンを押すと、“PROG”インジケーターが点灯しプログラムモードに入ります。

2. リモコンの数字ボタンでプログラムする曲を選びます。

（例：15曲目を最初に選び、15曲目の再生時間が4分30秒の場合）

3. 続いて希望の曲を2.の手順を繰り返してプログラムします。最大で24曲までプログラムできます。

（例：7曲目を選び、15曲目と7曲目の総再生時間が7分50秒の場合）

4. ▶ボタンを押すと、プログラムした順番に再生します。

ご注意

PROG 表示中はリピート再生、ランダム再生、AMS 再生を行なうことはできません。

プログラム内容を変更するには

● プログラムした曲を取り消すには

1. 停止中､プログラムがあるとき(“**PROG**”が点灯中)に**CLEAR**ボタンを押します。
2. **CLEAR**ボタンを押す度に､プログラムした曲の最後の曲から順番に取り消されます。

● プログラム全体を消すには

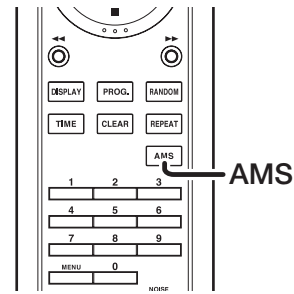
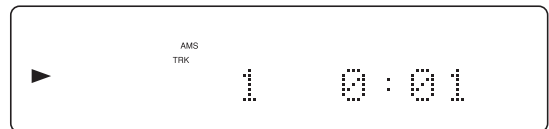
プログラム再生中は､■ ボタンを 2 回押します。
停止中は ■ ボタンを 1 回押します。
⏏ ボタンを押してディスクトレイを開けても、プログラムは消えます。

● プログラムの追加をする場合

プログラムが残っている場合の停止状態(“**PROG**” が点灯している状態) にプログラムを最後の曲の後に追加することができます。

● プログラムで曲を選ぶとき、次のことがらに注意してください。

- 総曲数が 10 曲以上のディスクで、数字ボタンで 1 〜 9 曲目を選ぶ場合、例えば 1 曲目の後、3 曲目をプログラムする場合なら **1** を押し、プログラムが確定した後､**3** を押してください。確定されるとタイムが更新されます。
- また 10 曲目以降を選ぶ場合、例えば 13 曲目なら **1** を押した後、およそ 1.5 秒以内に **3** を押してください。
- 総曲数が 9 曲以内のディスクで、数字ボタンで曲を選ぶ場合、例えば 4 曲目の後 5 曲目をプログラムする場合なら **4** を押した後、プログラムが確定してから **5** を押してください。

聴きたい曲を探す(AMS 再生)

聴きたい曲を探すときに便利な機能です。
停止中、 **AMS** ボタンを押すと AMS インジケーター “**AMS**” が点灯し、1 曲目からディスク全曲の最初の 10 秒間を次々に再生します。
また、再生中に **AMS** ボタンを押すと、AMS インジケーター “**AMS**” が点灯し、表示時間が約 10 秒経過したら次のトラックにとびます。

聴きたい曲が見つかったらもう一度 **AMS** ボタンまたは ▶ ボタンを押します。AMS インジケーター “**AMS**” が消灯し、その曲以降を通常再生します。

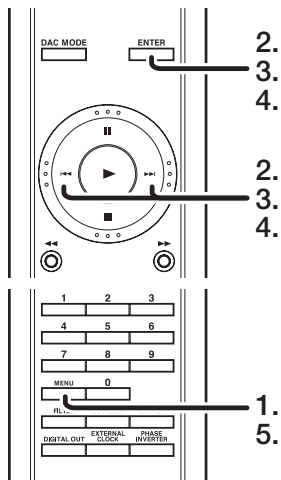
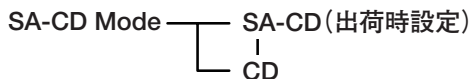
ご注意

プログラム中の AMS 再生はできません。

サウンドモード（スーパーオーディオ CD）の切替え

■ スタートサウンドモードの切り替え

スタートサウンドモードの切り替えの階層は下記のとおりです。

SA-CD Mode ── SA-CD（出荷時設定）
　　　　　　 └ CD

1. 停止中のときリモコンの**MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで“**SA-CD Mode=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

3. SA-CD層を読み込みたいとき、⏮、⏭ボタンで“**1 SA-CD**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

4. CD層を読み込みたいとき、⏮、⏭ボタンで“**2 CD**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

5. リモコンの**MENU**ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

本機がリピートモード、ランダムモードのときメニュー設定に入ることはできません。

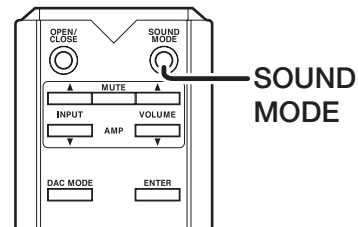
● スタートサウンドモードを CD に選択している場合

- このとき、スーパーオーディオ CD のハイブリッドレイヤー・ディスクを挿入すると CD 層を読み込みます。
- リモコンの **SOUND MODE** ボタンを押してもサウンドモードの切り替えはできません。
- スーパーオーディオ CD エリアのみのディスクを挿入した場合は、スーパーオーディオ CD 層を読み込みます。

● スタートサウンドモードをスーパーオーディオ CD に選択している場合（初期状態）

- このとき、スーパーオーディオ CD のハイブリッドレイヤー・ディスクを挿入するとスーパーオーディオ CD 層を読み込みます。
- リモコンの **SOUND MODE** ボタンを押すと、CD 層に切り替えることができます。
- 再度、リモコンの **SOUND MODE** ボタンを押すと、スーパーオーディオ CD 層に戻ります。

■ ハイブリッドレイヤーディスクの切り替え

スタートサウンドモードを“SA-CD”に設定してください。
お買い上げ時の設定は“SA-CD”になっています。

1. 停止中のとき**SOUND MODE**ボタンを押します。

現在選択しているレイヤーまたはエリアがディスプレイに表示されます。（CD、Super Audio CD）

更に**SOUND MODE**ボタンを押すと新しいレイヤーまたはエリアへ切り替わります。

- レイヤーまたはエリアを切り替えると新たに TOC の読み取りをおこないます。
- オーディオ CD、WMA、MP3 ディスクおよびスーパーオーディオ CD エリアのみのディスクのときは切り替えができません。
- ハイブリッドレイヤーディスクでは次のように切り替わります。

2. 再生中のとき**SOUND MODE**ボタンを押します。

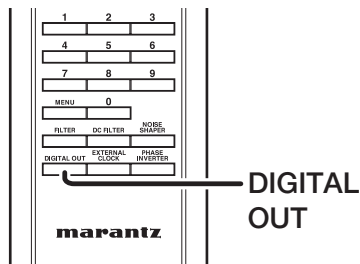
現在選択しているレイヤーまたはエリアがディスプレイに表示されます。（CD、Super Audio CD）

更に**SOUND MODE**ボタンを押すと再生は停止し、新しいレイヤーまたはエリアへ切り替わります。

そのエリアで聴きたい場合は、再度▶ボタンを押すと再生を開始します。

デジタル出力を設定する

設定はリモコンで操作可能です。
また電源を切っても保持されますので、常にお好みの状態で再生を楽しむことができます。
再び設定を変更するには同じ操作で変更します。
設定は停止中のとき変更できます。

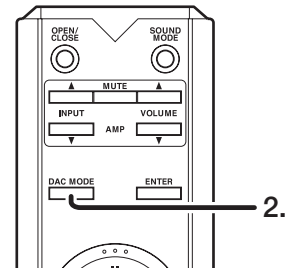
■ オーディオ CD またはスーパーオーディオ CD の CD レイヤー再生時

● デジタル出力オフ（DIG.OUT OFF）操作

停止中のとき **DIGITAL OUT** ボタンを押す度に、オン／オフが繰り返され、デジタル出力 OFF 時にはディスプレイに“**D OFF**”が点灯します。

- デジタル出力を使用しない場合、デジタル出力 OFF にすると、アナログ出力でより良い音質で楽しむことができます。

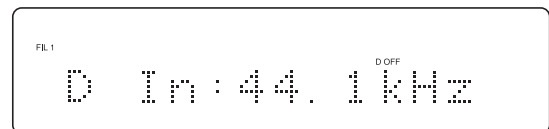
ご注意

デジタル出力はオーディオ CD またはスーパーオーディオ CD の CD レイヤー再生時のときのみ出力されます。
その他メディア再生時のときは出力されません。
デジタル出力オフは、ラストメモリー機能を持っています。ディスクの交換や電源を切っても設定を記憶し、変更されません。

D/A コンバーターとして使用する（DAC モード）

1. リアパネルのDIGITAL AUDIO IN 端子と CD トランスポートやMDレコーダー等､デジタル出力を備えた機器を接続します。

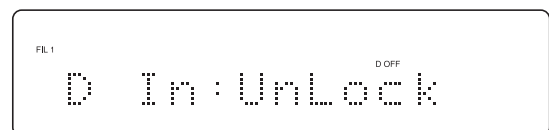
2. 本体またはリモコンの**DAC MODE**ボタンを押します。フロントパネルのDAC MODEインジケーターが青色に点灯します。

3. LCDディスプレイには入力された信号のサンプリング周波数（32kHz､44.1kHz､48kHz､64kHz､88.2kHz､96kHz）が表示されます。

FIL 1　D OFF
D In:44.1kHz

ご注意

- 本機が DAC モードのとき、音声出力はアナログのみです。
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz のリニア PCM 信号です。

  CD-ROM、ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モード→ B モードなど、サンプリング周波数が切り替ったときには、1 ～ 2 秒程度ミューティングが働き、音が途切れることがあります。
- 接続した機器のデータにジッタなどが多く、再生できないとき、LCD ディスプレイに下記の様に表示されます。

FIL 1　D OFF
D In:UnLock

4. DACモードを解除して､ディスク再生モードにもどりたいとき､再度本体またはリモコンの**DAC MODE**ボタンを押してください｡フロントパネルのDAC MODEインジケーターが消灯します。

フィルターの選択

DAC モード、ディスク再生モードのどちらのときでもフィルターの設定ができます。
FILTER ボタンを押す度に、FIL 1 → FIL2 → FIL 1 と切り替わります。
「フィルター」はラストメモリー機能を持っていますので、ディスクの交換や電源を切っても設定を記憶し、変更されません。
フィルターの設定は CD(DAC、CD、MP3)／SA-CD それぞれを設定することができます。
DAC モード時または WMA／MP3 の音楽データディスク再生時は、オーディオ CD と同じ設定になります。

■ フィルターの選択表

スーパーオーディオ CD 再生時、オーディオ CD 再生時にそれぞれ 2 種類のフィルター特性を内蔵し、それぞれの音質は異なる特長を持っています。お好みにあわせて切り替えてください。

フィルターの種類	オーディオ CD	スーパーオーディオ CD
FIL 1	音の情報量が多く、奥深い音像や音源の位置関係が明確に再現されます。 (非対称型フィルタースローロールオフです) (※出荷時の設定です)	DSD データ(スーパーオーディオ CD の記録信号)に対してフィルタリングをしないダイレクトモードです。オリジナルソースデータをそのままに再現し、素のままの質感と空間が再現されます。 (※出荷時の設定です)
FIL 2	音の情報量が多いとともに、音の輪郭がはっきりする傾向です。 (非対称型フィルターシャープロールオフです)	音の情報量が多く、奥深い音像や音源の位置関係が明確に再現されます。

ご注意

スーパーオーディオ CD 高音質ステレオエリア再生時、各フィルターでアナログ出力レベルが少し変わります。

表示やイルミネーションランプを消す(ディスプレイ(DISPLAY)操作)

LCD ディスプレイやイルミネーション･ランプ(ブルー色)をオン／オフするときに使用します。
(ディスプレイの状態は 2 種類あります。)

1. LCDディスプレイやイルミネーション･ランプ(ブルー色)が点灯するモード。
再生中**DISPLAY**ボタンを押す度に、LCDディスプレイやイルミネーション･ランプ(ブルー色)が同時にON／OFFの繰り返しをします。
ディスプレイオフ設定時はディスプレイオフ･インジケーター(赤色)が点灯します。

- 関連するボタンをどれか押した場合(例えば ⏏(**OPEN/CLOSE**)ボタンや ■(**STOP**)ボタン、▶▶| ボタン等の操作をしたときは自動的に LCD ディスプレイが点灯しますが、ディスプレイオフ･インジケーター(赤色)はこのときも点灯した状態のままになっています。また、この状態から演奏を開始して 2 秒後には自動的に LCD ディスプレイが消灯します。
- 停止中に **DISPLAY** ボタンを押しても LCD ディスプレイやイルミネーションランプ(ブルー色)は消灯しません。この時、ディスプレイオフ･インジケーター(赤色)が点灯していれば、ディスプレイオフ設定されています。

2. LCDディスプレイの表示だけをさせる設定。(イルミネーション･ランプ(ブルー色)は常に消灯)
お買い上げの状態ではイルミネーション･ランプ(ブルー色)は点灯しています。このイルミネーション･ランプ(ブルー色)をディスプレイオン、オフ操作とは関連なく常に消灯状態にします。

● 変更方法(STOP 時に変更可能です。)

1. 再生中の場合は■(**STOP**)ボタンを押し停止させます。
設定操作はリモコンの**DISPLAY**ボタンを2秒以上押し続けます。

2. イルミネーション･ランプ(ブルー色)が点灯している場合は消灯し、消灯設定になります。
消灯設定から点灯設定に変更したい場合は、同じ操作で**DISPLAY**ボタンを2秒以上押し続け点灯設定にします。

- この変更ではイルミネーション･ランプ(ブルー色)消灯設定は電源を切っても保持され、再び点灯設定に設定変更するまで消灯しています。
- LCD ディスプレイやイルミネーションランプ(ブルー色)のオン／オフ設定は電源を切っても保持されます。

困ったときは

困ったときは下記の項目を確認してください。
下記の項目を確認しても直らない場合は、お買い上げになった販売店もしくはお近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所、お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

現象	原因	処置
ディスクが回らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。（→ 14 ページ）
	本機の電源が入っていない。	本機の電源をオンにしてください。（→ 15 ページ）
	ディスクが正しい位置に入っていない。	ディスクを正しく乗せてください。（→ 15 ページ）
	ディスクが裏表さかさまに入っている。（ディスクの印刷面が下になっている）	ディスクを正しく乗せてください。（→ 15 ページ）
	DAC モード設定になっている。	ディスクモードに切り換えてください。（→ 24 ページ）
ディスクが途中で回らなくなり、止まる。	ディスクが汚れている。	ディスクの表面をきれいにしてください。（→ 29 ページ）
	ディスクに傷がついている。	傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。
	ディスクが反っている。	ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。
ディスクは回るが音が出ない。	アンプ・スピーカの接続が正しくない。	ケーブル類を正しく接続してください。（アンプの説明書をご覧ください。）
	アンプの電源がオンになっていない。	アンプの電源を入れてください。（アンプの説明書をご覧ください。）
	アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。	アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（アンプの説明書をご覧ください。）
	アンプのボリュームが最小になっている。	アンプのボリュームを調整してください。（アンプの説明書をご覧ください。）
リモコン操作ができない。	本機とリモコン間の距離が遠すぎる。	本機に近づいて、操作範囲内で操作してください。（→ 9 ページ）
	本機とリモコン間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。（→ 9 ページ）
	リモコンの電池が切れている。	電池を全て新しいものに取り替えてください。（→ 9 ページ）
	本機の受光窓に強い光が当たっている。	受光窓に強い光が当たらないようにしてください。（→ 9 ページ）
	後面の REMOTE CONTROL スイッチが EXTERNAL 側になっている。	本機を単独で使用する場合、スイッチを INTERNAL 側にしてください。（→ 18 ページ）
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない。	ディスクが裏表さかさまに入っている。	ディスクを正しく乗せてください。（→ 15 ページ）
	記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットではない。または指定の MP3／WMA ファイルが正しく記録されていない。	本機に対応した正しい情報を記録してください。（→ 27 ページ ,29 ページ）
スーパーオーディオ CD ハイブリッドディスクのサウンドモードが切り替わらない。	スタートサウンドモードを CD に選択している。	スタートサウンドモードをスーパーオーディオ CD に選択してください。（→ 23 ページ）

その他

■ WMA の再生について

- Windows Media は、米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における商標です。
- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9Series を使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- マルチセッションには対応していません。
- DRM コピープロテクトのかかった WMA ファイルは再生できません。
- WMA ファイルは、米国 MicrosoftCorporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

● WMA ファイル

規格	Microsoft Windows Media Audio 9.2 準拠 以下は対応外 • WMA9 シリーズ Professional • WMA9 シリーズ Voice • WMA9 シリーズ Lossless • Video 有り WMA
拡張子	.wma
ビットレート [kbps]	CBR：48/64/80/96/128/160/192
サンプリング 周波数 [kHz]	44.1
チャンネル	2ch(Stereo)

● Windows Media DRM について

Windows Media デジタル著作権管理(DRM)(以下、WMDRM)は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。

WMDRM で保護されたコンテンツは WMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。

本機は WMDRM で保護されたコンテンツに対応していません。

■ MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー3 のサンプリング周波数 44.1kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは"No File"と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR：Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- マルチセッションには対応していません。
- 音質的には、記録ビットレート 128kbps 以上をお勧めします。

● MP3 ファイル

規格	MPEG-1 Audio Layer3
拡張子	.mp3
ビットレート [kbps]	MPEG-1 Audio Layer3 の場合 32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320
サンプリング 周波数 [kHz]	MPEG-1 Audio Layer3 の場合 44.1
チャンネル	2ch(Stereo)
エンファシス	OFF

各部の名称
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
困ったときは
その他

仕様・外観寸法図

	スーパーオーディオ CD	オーディオ CD
オーディオ特性		
アナログ出力		
チャンネル	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲	2 Hz — 100 kHz	2 Hz — 20 kHz
周波数特性	2 Hz — 50 kHz(-3dB)	2 Hz — 20 kHz(-0.15 dB)
ダイナミックレンジ	112 dB	100 dB 以上
S/N 比(A-Weighted)	110 dB	110 dB
高調波歪率(1kHz)	0.0010 %	0.0015 %
ワウフラッター	水晶精度	水晶精度
アナログ出力レベル		
アンバランス	2.4 V RMS ステレオ	2.4 V RMS ステレオ
ヘッドフォン出力	30 mW／32 Ω(最大可変)	30 mW／32 Ω(最大可変)
デジタル出力		
ピンジャック	——	0.5 Vp-p (75 Ω)
角型光コネクター(光出力)	——	-19 dBm
デジタル入力		
角型光コネクター(光入力)	——	-17.5 dBm 〜 -23 dBm
光学読み取り方式		
レーザー	AlGaAs	AlGaAs
波長	650 nm	780 nm
信号方式	1 ビット DSD	16 ビット・リニア PCM
サンプリング周波数	2.8224 MHz	44.1 kHz

● 電源部

電源 ....AC 100 V 50/60 Hz
消費電力(電気用品安全法)..20 W

● キャビネット・その他

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)
.....................................(SA-13S2)440×127×419 mm
.....................................(SA-15S2)440×123×419 mm
質量 ....(SA-13S2) 14.7 kg
....(SA-15S2) 13.5 kg
許容動作温度..+5 ℃〜+35 ℃
許容動作湿度................................ 5〜90 %(結露のないこと)

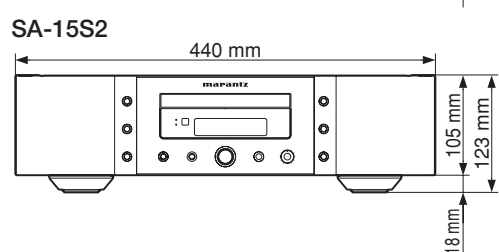
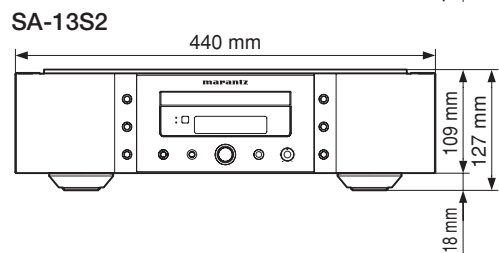
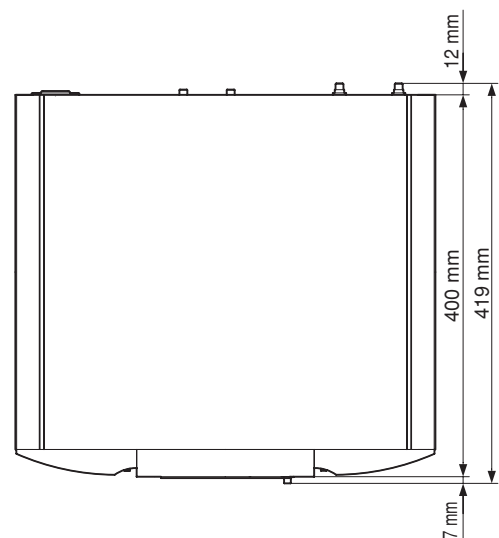
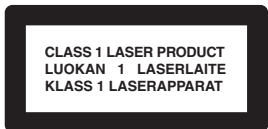
● 付属品

- リモコン..1
  (幅×高さ×奥行き) ....48.5×20×227.5 mm
  質量(電池なし).. 160 g
- 単四乾電池(R03)...2個
- 電源コード.. 1本
- オーディオケーブル 1組
- リモート接続ケーブル.. 1本
- 取扱説明書(本書) 1冊
- 保証書 1枚

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

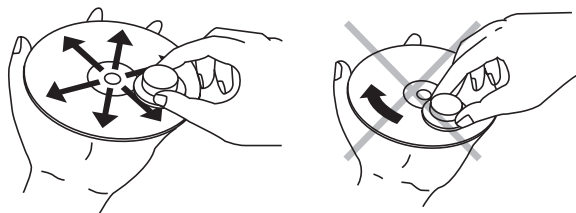
CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

SA-13S2

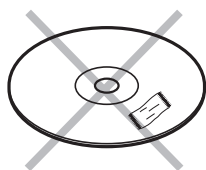
SA-15S2

ディスクの取扱い方

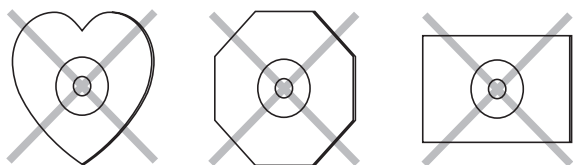
★ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

★ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

- 放射状方向にふいてください。
- 円周方向には、ふかないでください。

★ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

★特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

★ディスクレーベル面に disc マークの入ったものなど JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

CD 規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

★ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

★ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

■ コピーコントロール CD（コピーガード付CD）について

コピーコントロール CD（コピーガード付 CD）は、現在の CD 規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様の CD 再生機器による再生の状態を保証致しかねます。

通常 CD を用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様の CD 再生機器の不具合ではございません。

なお、コピーコントロール CD に関する詳細につきましてはコピーコントロール CD の発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

■ CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機では従来のオーディオ CD や CD-R（Recordable）に加え、CD-RW（ReWritable）ディスクの再生も可能です。

- CD-R や CD-RW の再生では必ず TOC* が正しく記録されていることが必要です。CD レコーダーでは TOC 情報を書き込むことをファイナライズ（Finalize）といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通の CD プレーヤーやスーパーオーディオ CD プレーヤーではオーディオ CD として正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくは CD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

  * TOC（トック）とは Table Of Contents の略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。
- 本機は音楽 CD フォーマット、WMA/MP3 の音楽データが記録された CD-R/CDRW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- CD-RW ディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオ CD や CD-R に比べ TOC の読み込みに若干時間がかかることがあります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ミックス・モード CD／エンハンスド CD や DTS CD ディスクを再生することはできません。
- CD-G、ビデオ CD や DVD ディスクを再生することはできません。

■ DualDisc の再生について

- “DualDisc”は、片面に DVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的な CDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- “DualDisc”の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

その他

■ お手入れ

- セットが汚れたときは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を 5 〜 6 倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

■ ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、オーディオ CD など）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。

  したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。

   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理について。

   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1） 品名　　スーパーオーディオCDプレーヤー
2） 品番　　SA-13S2／SA-15S2
3） シリアルナンバー（製造番号）
4） お買い上げ日　年　月　日
5） 故障の状況（できるだけ具体的に）
6） ご住所
7） お名前
8） 電話番号